



NPO法人赤平市民活動支援センター 設立1周年を迎えて

この1年を振り返ると、とても早い1年だったと感じています。

市の施設である公民館を民間の団体で運営するというは、前例のないことでした。お手本がない中で自由な発想で、市民の声が反映した公民館事業を展開できるのか、民間で運営することの利点や特徴を出せるのかということに挑戦してきました。

公民館事業、支援センターの活動を振り返ってみますと



1. 喫茶ラビカの開店・・・市民の憩いの場、地産地消のすすめ、ボランティアの場、食を通してできるさまざまな事業の発見と実践を目指しています。
2. 地産地消の進め（パイキングナイター3回）・・・地元の食材と地元飲食店、沢山のボランティアの皆さんが手をつなぎ実現。
3. コンサートや映画上映、人形劇ワークショップなどの文化的な活動
4. 国際鉱山会議に協力（和ものフリーマーケット） 5. 地域通貨学習会・・・毎月一回
6. FMG'sky「ラビカ通信」5週に1回放送 7. ミニコミ誌発行・・・毎月1回
8. イラスト漫画展・ラビカポスカコンテスト・・・大人も子どもも参加して、赤平のよいところを発見、世界に発信!
9. チャレンジ事業（新公民館講座）・・・市民のアイデアを実現した講座“星見を楽しむ天文講座”や“富良野有機農業見学ツアー”等
10. 公民館管理・・・公民館の貸し出し業務のほか、公民館事業の開催。講座・エルム学園・ヨチヨチハイハイ・機会事業など。チャレンジ事業は新企画で天文講座・有機農業見学ツアーを実施。

私たちが目指している、市民活動は決して難しいことではありません。昔からある隣近所は親戚と同じ、生活も子育てもみんな協力しあうことが当たり前であった時代の人と人とのつながりを取り戻したい、まずはここ赤平から！

行政になんでも頼るのではなく、自分たちの手で自分たちの町を楽しくすみやすいところにしたいと願っているのです。

大事なものがたくさんあります。子ども達、自然環境、文化レベルの向上、生きがいの発見 などなど、課題は尽きることがありません。これからも、地域だけでなく国の垣根も越えて多くの人々と手をつなぎ、地球規模でみんなが幸せになれるよう、頑張っていきたいと考えています。



毎週月曜日にメンバーが集まり、全体会議を行っています。